学校番号	327

令和８年度　地理歴史科（国際文化科）

教科	地歴	科目	日本史演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院） 日本史重要語句Check List（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を確立し、過去の歴史的事象がどのように現在と関わるのかを考える。
・歴史的事象を知るだけでなく、「なぜ」なのかという視点を持ち、考察する。
・歴史的事象が起きた背景を踏まえて、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日本の歴史の大きな枠組みと歴史的な事象について、地理的条件や世界と関連付けながら、多面的に考察し、自分の考えをまとめる能力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】
・様々な資料から歴史的事象を効果的に調べて、まとめて表現できる技能を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
・日本の歴史を学び、現在の諸問題との関りを理解し、日本の社会をより良い社会にしていくため、諸問題を主体的に探究しようとする態度を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の大きな枠組みと歴史的な事象について、地理的条件や世界と関連付けながらグローバルに理解するとともに、様々な資料から歴史的事象を適切に調べて、まとめることができる。	日本の歴史の大きな枠組みと歴史的な事象について、世界と関連付けながら、多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめ、表現することができる。	日本の歴史の大きな枠組みと歴史的な事象を学び、国家及び社会の形成者として、日本の社会をより良い社会にしていくため、諸問題を主体的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	近代	11. 近世から近代へ 12.近代国家の成立	a: 近代に向かって社会がどのように変化していったのかについて、周辺地域と関連付けて理解し、まとめることができる。 b: 近代国家の枠組みについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c: 明治政権成立の背景などから明治政権と、現在の国家との違いを考察し、現在の国家のあり方について考察する。	考査 課題	考査 課題	振り返り シート 発表
	近代	13.近代国家の展開	a:明治時代後半、社会がどのように変化していったのかについて、周辺地域と関連付けて理解し、まとめることができる。 b:戦争に向かう社会の枠組みについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:帝国主義国の国家と、現在の国家との違いを考察し、現在の国家のあり方について考察する。	考査 課題	考査 課題	振り返り シート 発表
二学期	近代	14.近代の産業と生活 15.恐慌と第二次世界大戦	a:産業化によって、どのように社会がどう変化していったのかについて、周辺地域と関連付けて理解し、まとめることができる。 b:産業化の枠組みについて、多角的・多面的に考察し、表現できる。 c:産業化がもたらした、社会や国家の現在との違いを考察し、現在の国家のあり方について考察する。	考査 課題	考査 課題	振り返り シート 発表

	現 代	16.占領下の日本 17.高度成長の時代	a:敗戦と高度経済成長よって、社会がどのように変化していったのかについて、周辺地域と関連付けて理解し、まとめることができる。 b:戦後の国際社会の枠組みについて、多角的・多面的に考察し、表現できる。 c:戦後の現代国家において、現在の国家との違いを考察し、現在の国家のあり方について考察する。	考査 課題	考査 課題	振り返り シート 発表
三 学 期	現 代	18.激動する世界と日本	a: 現在に向かって社会がどのように変化していったのかについて、周辺地域と関連付けて理解し、まとめることができる。 b: 現在社会の枠組みの変化について、多角的・多面的に考察し、表現できる。 c: 現在の国家との違いを考察し、これからの国家のあり方について考察する。	考査 課題	考査 課題	振り返り シート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度